

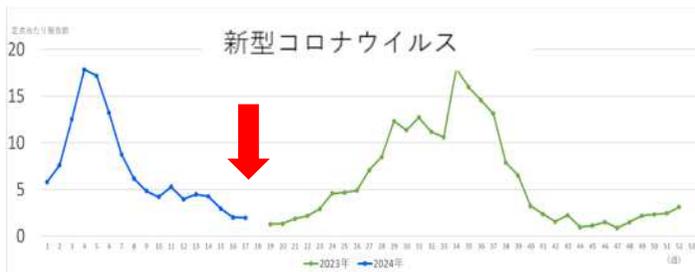
# 静岡市 感染症トピックス



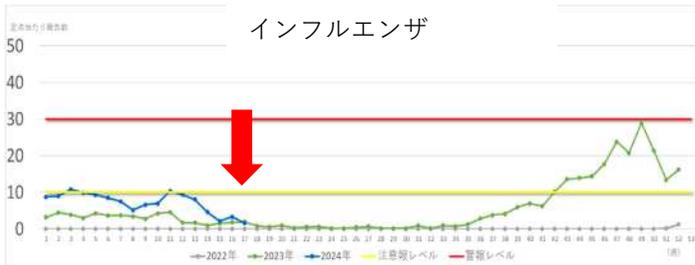
## 今、気になる感染症 「麻しん(はしか)」

### 令和6年4月末時点（週報17週）の静岡市の様子

新型コロナ、インフルエンザともに減少傾向です。目立った動きはありませんが、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が例年よりやや多めに報告されています。  
※グラフは2024年青色、2023年みどり色、2022年灰色です。



**新型コロナウイルス**  
減少傾向ですが、連休による人の動きが大きく、今後増加の可能性も考え動向を見ていく必要があります。



**インフルエンザ**  
流行当初はA型が中心でしたが、現在はB型が中心となっています。減少傾向ですが引き続き手洗い、うがいで予防しましょう。



RSウイルス感染症が例年より早く増え始めています。通常は夏～秋で流行しますが、例年より早い時期からの流行も予想されます。今後の動向には注意が必要です。



### 麻しんの流行について

平成27年にWHOより日本は麻しんの排除状態にあることが認定され、以来、海外からの輸入例と、輸入例からの感染例のみがみられています。  
近年のインバウンドや海外旅行者数の増加から、国内で報告されている感染者数は増加してきており、注意が必要な感染症になっています。

### 麻しんの症状

感染すると約10～14日後に発熱や咳、鼻水といった風邪の症状が現れ、口の中にコプリック斑という白い小さな粘膜疹が出現します。2～3日熱が続いた後、39度以上の高熱と発疹が出現します。発疹は耳後・頸部から始まり全身に広がります。  
肺炎や中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症するといわれています。

### 予防について

麻しんは**感染力が強く**、麻しんの免疫がない集団に1人の発症者がいたとすると12～14人の人が感染するといわれています。  
(インフルエンザでは1～2人)  
昨年は新幹線や飛行機内で感染する例もみられました。  
空気感染もするため**手洗い・マスクのみでは予防できません**。  
【麻しん含有ワクチン】を受けている事が予防に最も有効です。



### ワクチン接種を受けたほうが良い人は？

定期接種の対象年齢の方は2回の接種を受けましょう。  
「麻しんにかかったことがなく、ワクチンを1回も受けたことのない方」はかかりつけの医師にご相談ください。  
また、平成12年4月1日以前生まれの方は、2回の予防接種の機会がなかった方になります。麻しんにかかったことがなく、特に医療関係者や児童福祉施設等の職員、学校などの職員など、麻しんにかかるリスクが高い方や麻しんにかかることで周囲への影響が大きい場合、**流行国に渡航するような場合は、2回目の予防接種についてかかりつけ医師にご相談ください。**



※ 最新の情報はこちらからホームページでご覧ください

